

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
佐野和夫
印刷所
(株)東北プリント



「第59回 宮城県ブラック アンド ホワイトショウ」 (令和6年6月22日 美里町)

もくじ

CONTENTS

令和6年度畜産業振興事業について…………… 2-3	農業大学校生の抱負…………… 10
価格安定対策事業の発動状況について…………… 3	茂重波導入50周年に寄せて…………… 11
令和6年度宮城県畜産協会事業の概要について…………… 4-5	第59回宮城県ブラックアンドホワイトショウの 結果について…………… 12
仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始 49周年記念枝肉共進会の受賞結果について…………… 6	令和6年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ…………… 12
令和6年度仙台牛枝肉共進会inTokyo終了報告…………… 7	
北海道全共出品候補牛の確保のための 交配にご協力お願いします…………… 8	
衛生便り…………… 8	
畜試便り…………… 9	
令和7年度宮城県農業大学校入校生を募集 (推薦入校試験)…………… 10	



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



令和6年度畜産業振興事業について

宮城県農政部畜産課

畜産業振興事業は、「独立行政法人農畜産業振興機構法」に基づき、畜産振興に関する多岐にわたる事業を農畜産業振興機構が実施しているものです。

機構から補助を受けるのは、公募により選ばれた全国団体がほとんどですが、地域団体を通じて農協や畜産経営者も間接的に補助を受けることが可能です。

令和6年度畜産業振興事業の一部を紹介します。

事業名	事業目的	事業内容
酪農経営支援総合対策事業 4,566百万円	我が国の酪農は、高齢化等により酪農家戸数や飼養頭数が減少し、後継牛不足も深刻化するなど生産基盤の弱体化が進行している。このため、生産者集団等が行う地域の創意工夫を生かした取組を支援し、担い手や乳用後継牛を確保していくとともに、経営の持続性の向上を図り、地域の実情に応じた酪農生産基盤の維持・強化を図る。 補助率（定額、2/3、1/2、1/3以内）	(1) 酪農生産基盤・飼養環境改善の支援 （ア）後継牛確保のための環境整備（機器導入（カーフハッチ、分娩カメラ等）、つなぎ牛舎の改良）、飼養環境の改善、暑熱対策、育成牛等の事故率低減支援（ワクチン1千円/頭）、供用期間の延長支援（肢蹄保護、乳房炎ワクチン等、1千円/頭）、飼料作物の不作から不足する飼料への支援（代替飼料の共同購入5円/kg）、（イ）労働負担軽減に資する機械装置等の導入と一体的な施設の整備を支援する。 (2) 地域の生産体制の強化 生産基盤が脆弱な地域において持続的な生乳生産体制を確保するため、（ア）経営離脱農家等を研修施設として活用した担い手の確保、（イ）将来にわたって持続可能な経営体の創出、（ウ）後継牛育成のための広域預託を推進する取組等を支援する。 (3) 酪農ヘルパーの利用拡大 ①酪農ヘルパーの職業認知度向上、修学支援、学生インターンシップの受入、人材コンサルタントの活用、ヘルパー研修や外国人材の活用等の人材確保・育成、②傷病時等の利用料金を軽減するための互助基金制度及び③広域利用調整、酪農ヘルパーの待遇改善や利用組合の経営改善等の利用組合強化の取組を支援する。 (4) 生乳流通体制の合理化の推進 生乳流通コストの生産者負担を軽減するため、生乳生産者団体等が行う「生乳流通合理化計画」等の検討・作成、生乳流通関係機器のリース導入、貯乳施設の減容化・需給調整機能を持たせるために必要な補改修、乳代精算方法の効率化等の取組を支援する。 (5) 生乳需要基盤の確保の推進 国産牛乳乳製品の消費の維持・定着を図るため、消費者等への酪農理解醸成活動、牛乳乳製品の新たな利用場面の普及や価値訴求、生産者自らが製造する牛乳乳製品の需要拡大のための技術研修や販路拡大等の取組を推進する。 (6) 乳用牛の計画的な改良・増殖の推進 牛群検定組合等が行う遺伝情報（SNP）データの収集等の取組、乳用牛の飼養管理に係る技術指導、調整交配等を支援する。
肉用牛経営安定対策補完事業 3,636百万円	肉用牛生産は中山間地域や離島等の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしてきたが、小規模・高齢者層を中心とした生産者の離脱等から生産基盤の脆弱化が危惧されている。 このため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の確保、子牛生産の効率化、担い手の育成等を支援することにより、生産基盤の強化を図る。 補助率（定額、1/2以内等）	(1) 肉用牛生産基盤強化対策 ①遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛及び優良な繁殖雌牛の導入を支援する。 導入奨励金：6万円/頭、9万円/頭（希少性の高い牛） ②繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎（育成牛の簡易牛舎を含む）や子牛の健康維持に資する器具機材等の整備に対して支援を行う。 ③肉用牛ヘルパーの推進を支援する。 ④多様な担い手の育成を支援する。 ⑤特定地域における肉用牛の処理を支援する。 ⑥一産取り肥育の普及・定着に向けた取組を支援する。 ⑦和牛精液等の流通管理を周知・徹底する取組を支援する。 (2) 地方特定品種並びに離島等及び山振地域の肉用牛振興対策 ①地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用の拡大、飼養頭数の増頭等を推進するための取組を支援する。 ②離島等及び山振地域における肉用子牛の集出荷を促進するための取組を支援する。 (3) 肉用子牛流通等対策 ①家畜商組合等が行う、金融機関から借り入れた資金を活用した肉用子牛等の預託を促進するための奨励金を交付する。

 宮城野豚銘柄推進協議会	宮城県産黒毛和種  仙台牛公式 Instagram 仙台牛銘柄推進協議会	6月1日は  WORLD MILK DAY 宮城県牛乳普及協会
----------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	事業目的	事業内容
		② 家畜商組合等が借り入れる預託牛の導入資金に係る債務保証及びその代位弁済を行う取組等を支援する。 ③ 肉用子牛等の流通の多様化を図るため、家畜商組合等による地域における優良な肉用牛の集出荷体制等を改善する取組や、生産者が遠隔地の家畜市場からの購入をサポートする取組を支援する。
バター・脱脂粉乳需給不均衡及び生乳流通改善緊急事業(新規) 1,600百万円	酪農経営の安定には、生乳需給の安定を図る必要がある。バター・脱脂粉乳需給の不均衡が拡大しており、生乳需給の不安定化の一因となっている。また、物流2024年問題により、集送乳経費が上昇することが見込まれ、これらの課題に早急に対処する必要がある。 このため、生乳流通事業者等が行うバター・脱脂粉乳の需給の不均衡改善や集送乳経費の合理化に対する取組を支援することで、酪農経営の安定に資する。	(1) バター・脱脂粉乳の需給の不均衡改善への支援 バター・脱脂粉乳需給の不均衡を改善するための取組を行う生乳流通事業者に対し、18万トンを限度として、対象数量に応じた奨励金を交付。 (2) 集送乳経費の合理化への支援 物流2024年問題へ対応するため、農協等と連携して、実態把握や改善策の策定等、集送乳経費の合理化に取り組む指定生乳生産者団体に対し、343万トンを限度として、対象数量に応じた奨励金を交付。

令和6年度畜産業振興事業一覧

事業名	所要額(百万円)	事業名	所要額(百万円)
加工原料乳生産者経営安定対策事業	-	畜産特別支援資金融通事業	911
酪農経営支援総合対策事業	4,566	食肉流通改善合理化支援事業	2,636
肉用牛経営安定対策補完事業	3,636	畜産副産物適正処分等推進事業	5,873
養豚経営安定対策補完事業	1,232	畜産経営安定化飼料緊急支援事業	149
堆肥舎等長寿命化推進事業	222	畜産経営災害等総合対策緊急支援事業	3,280
畜産高度化推進リース事業	2,800	バター・脱脂粉乳需給不均衡及び生乳流通改善緊急事業(新規)	1,600
国産畜産物安心確保等支援事業	542	優良和子牛生産推進緊急支援事業	66,227(内数)

※ 令和6年度畜産業振興事業の概要 https://www.alic.go.jp/c-kanri/shinko01_001349.html
 農林水産省HP https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/231222-6.pdf
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/attach/pdf/231222-7.pdf

(企画管理班 佐藤 綾香)

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
令和6年4月(概算払)	(56,970.2円)	—	(12,178.1円)
5月(概算払)	(92,306.9円)	—	(28,314.2円)

◎肉用子牛生産者補給金(子牛補給金)の交付金単価 令和6年度第1四半期

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
補給金単価	22,600円	—	—	—	—

◎優良和子牛生産推進緊急支援事業の奨励金単価 令和6年度第1四半期

	取組数2	取組数3	取組数4以上
交付金単価	10,000円	20,000円	30,000円

※ 平均販売価格が発動基準価格(570,000円)を下回ったため、最高で30,000円が交付されます。

◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の交付金単価 令和6年度第1四半期 交付なし

令和6年度宮城県畜産協会事業の概要について

一般社団法人宮城県畜産協会

日頃より本会の事業推進に多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が昨年5月に感染症法上5類に移行し、長く続いたコロナ禍から、停滞していた経済活動が少しずつ戻りつつある中、国際情勢の影響による物価高や原油価格・配合飼料等の生産資材の高騰が続き畜産経営に深刻な影響を及ぼしています。

物価高騰による牛乳や食肉をはじめとする畜産物の消費低迷は、牛枝肉価格、子牛価格等畜産物生産へ影響し、畜産経営は厳しい状況が続いています。

また、家畜伝染病においては、高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱の発生は野生イノシシへの感染が県内をはじめ全国的に確認されています。韓国での口蹄疫やアフリカ豚熱はアジア全域で飼養豚や野生イノシシへの感染が拡大しており、水際の防疫対策に加え、より一層の飼養衛生管理基準の遵守等の徹底が求められています。

このような情勢の中、本会としては国や県・関係団体等と連携し、畜産物消費拡大をはじめ各種支援対策に取り組むとともに、生産コストの削減とより一層の効率化を図るため、畜産経営基盤の体質強化、経営支援指導、価格安定対策、家畜衛生対策、家畜改良対策に引き続き取り組み、畜産経営の安定化及び本県畜産の振興と継続的発展に努めます。

I 畜産経営支援対策事業

1. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成強化を図るため、畜産経営診断の支援、畜産経営情報のデータベース化、畜産経営セミナー・研修会等の諸事業を実施し、経営実態に即した総合的な支援指導を実施します。

2. 畜産特別資金等推進指導事業

大家畜・養豚特別支援資金借受者の経営改善のため、支援協議会の開催、経営改善計画の作成・見直し等の指導を実施します。

3. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化を図るため、優良繁殖雌牛の導入、簡易畜舎等の整備を行う生産集団及び肉用牛ヘルパー組織に対して補助します。

4. 優良繁殖雌牛更新加速化事業

肉用牛の生産基盤の強化のため、畜産クラスター計画に基づき、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業説明及び事業参加要望書等の取りまとめ等を実施します。

5. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)に係る事業推進業務

畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

6. 生産技術情報提供事業

家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、家畜の生産性向上を図ります。

7. 畜産経営体生産性向上対策事業に係る事業推進業務

酪農家や肉用牛農家の省力化・生産性向上に資するICT関連機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

8. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(労働負担軽減事業)に係る事業推進業務

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業(通称:酪農パワーアップ事業)の省力化機械導入事業及び施設整備事業の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

II 家畜衛生対策事業

1. 特定疾病自衛防疫事業推進事業

(1) 各予防接種

伝染性疾病に対する予防接種を実施し、疾病発生による損耗防止に努めます。

(2) 自衛防疫推進事業

自衛防疫事業を円滑に推進するため、自衛防疫推進会議等を開催し、家畜衛生に関する知識の普及や情報の収集・伝達に努めます。

2. 家畜生産農場衛生対策事業

生産農場における牛ヨーネ病の防疫対策、牛伝染性リンパ腫の清浄化対策、牛ウイルス性下痢症及びアカバネ病の発生・流行防止対策を推進します。

3. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

国内の牛海綿状脳症(BSE)の浸潤状況を的確に把握するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、死亡牛の所有者に対し、検査促進費、検体提供費、検査費を補助し、死亡牛のBSE検査を推進します。

また、県、関係団体、死亡牛収集業者で構成する牛疾病検査円滑化推進対策協議会を開催し、死亡牛BSE検査を円滑に行うための体制維持に取り組みます。

4. 畜産物衛生環境整備円滑化事業

家畜死体冷却保管施設について、施設を利用している収集運搬業者、岩出山牧場管理者と協力し、施設の効率

的な活用、衛生環境の保持、公害発生防止対策を図り、県内で発生する死亡家畜の円滑な処理を推進します。

5. 家畜防疫・衛生指導対策事業

(1) 地域自衛防疫取組促進対策事業

高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の特定家畜伝染病の発生に備えて県内各地域で実施される防疫演習、埋却演習、研修会等を支援し、県の各部局・市町村・関係団体等が一体となった防疫体制の構築・維持を推進します。

(2) 地域農場HACCP認証支援事業

県内における農場HACCP認証に取り組む農場に対し、専門家による構築指導を行い、地域における農場HACCP取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図ります。

6. 育成馬予防接種推進事業

競走馬繁殖農場において、繁殖牝馬及び入厩前の育成馬に対し、馬インフルエンザワクチン及び三種混合ワクチンの接種により疾病の発生防止を図ります。

7. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種を推進します。

8. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚熱等の特定家畜伝染病が発生し殺処分等が行われた農場に対し、経営再開までの必要な経費等が支援される家畜防疫互助基金制度について、関係機関と連携し事業の周知・加入促進を図り、契約等の取りまとめ事務を行います。

9. 生乳取扱者研修事業

宮城県における生乳の乳質改善と今後の生乳品質格付方法の多様化に対処するため、生乳取扱者の生乳等に関する知識及び総合的検査技術の向上と県内統一した基準に基づく生乳の検査、衛生的取扱の適正化を推進するため、認定講習会並びに研修会を開催します。

10. 獣医師養成確保修学資金給付事業

獣医学を専攻する学生のうち産業動物獣医師を志す者に対し、獣医師養成確保修学資金を給し有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図ります。

III 家畜価格安定対策事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用牛生産の存立を確保するため、肉用子牛の生産者に対して、子牛の再生産を確保するため一定の条件の下、生産者補給金を交付します。

2. 和子牛生産者臨時経営支援事業

肉用子牛の価格が、大幅に下落しているため、飼養衛生管理向上に向けた取組を行っている生産者に対して、和子牛のブロック別平均販売価格が発動基準を下回った場合に奨励金を交付します。

3. 肉用牛肥育安定基金

生産者により「肥育安定基金」を造成し、毎月の肥育牛1頭当たりの粗収益が生産コストを下回った場合に差額の9割を補てんします。

4. 肉豚経営安定交付金制度

制度の円滑な実施を図るため、登録生産者との委託契約に基づき、書類申請及び保管等に関する助言指導を行います。

5. 肉牛事故共助推進事業

全農宮城県本部が販売する肉畜に発生する事故に対し、その損害を補償します。

IV 家畜改良事業

1. 宮城県総合畜産共進会の開催

家畜の改良増殖と飼養管理技術の向上を図るため、乳用牛、肉用牛、養豚(枝肉)を対象とした総合畜産共進会を開催します。

2. 家畜人工授精用精液流通調整事業

本県の家畜改良を円滑に推進し、優れた能力をもった種雄牛の造成、商品性の高い乳牛・肉牛の生産を拡大するため、県内7カ所にサブセンターを設け、優良種雄牛を主体とした凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、適正使用、計画交配を指導します。

<p>感動を呼ぶ製品をめざして</p> <p>ORION</p> <p>ハードシステムとソフトシステム (ビフォー&アフターサービス)で あなたの経営を応援。 これがオリオンの思想です。</p> <p>中央オリオン株式会社 宮城営業所 〒989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号 TEL: 0229-26-4330 FAX: 0229-26-4338</p>	 <p>農のネットワーク NOSAI 宮城県農業共済組合 TEL 0229-87-8281</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">農業共済新聞</p>	<p>次の一手を未来につなげたい</p> <p>総合印刷企業 株式会社 東北プリント</p> <p>〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号 TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986 E-mail mail@tohokuprint.co.jp</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始49周年記念枝肉共進会の受賞結果について

仙台市中央食肉卸売市場株式会社

仙台市中央卸売市場食肉市場において、7月3日（水）に仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始49周年記念事業協賛会主催の枝肉共進会が、肉牛249頭・肉豚300頭上場で開催され盛会裡に終了いたしました。関係者各位に改めて御礼申し上げます。

厳正な審査により入賞された方々を紹介いたします。

なお、所属団体、出品者名、枝肉重量、せり単価の順で記載いたします。

【第1部黒毛和種（去勢）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム 川村大樹	隆安国	美国桜	624.5	5,002
最優秀賞	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム	福之姫	百合茂	676.0	3,519
	JAいしのみき（河南）	株川村ファーム 川村拓也	茂福久	諒太郎	603.5	3,101
	JAみやぎ仙南（角田）	濱ばば農場	勘太	福之姫	626.5	3,199
	JA古川	結城猛夫	若百合	茂福久	674.0	3,144
	JAみやぎ登米（南方）	株川口ファーム	百合芳	安福久	518.0	3,046
優秀賞	JA新みやぎ（鹿島台）	菅野豊博	勝早桜5	安福久	583.5	2,815
	JA新みやぎ（南郷）	海上 淳	幸紀雄	茂福久	586.0	3,004
	宮城家畜商出荷組合	株川村ファーム	福之姫	安福久	668.0	2,792
	宮城家畜商出荷組合	株遠藤畜産	茂晴花	安福久	621.5	2,618
	仙台肉牛出荷組合	全畜連 株ライフルファーム菅生	安亀忠	安福久	585.5	2,801
	仙台肉牛出荷組合	株川口ファーム 川口敬司	勝吾	諒太郎	604.5	2,802
	JAみやぎ登米（米山）	石崎琇一	茂福久	金太郎3	556.0	2,718
	JAみやぎ登米（南方）	渡辺哲也	福之姫	百合茂	626.5	2,741
	株丸市	日下 平一	福之姫	安福久	609.0	2,700

【第2部黒毛和種（雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	JA新みやぎ（志波姫）	那須知則	美国桜	耕富士	411.0	5,212
最優秀賞	JA古川	小高 栄	茂晴花	美国桜	500.0	3,534
	宮城家畜商出荷組合	伊藤 豊 株いずみファーム	百合芳	聖香藤	475.5	3,151
優秀賞	JAみやぎ登米（米山）	小野寺充洋	紀多福	喜亀忠	458.5	3,100
	宮城家畜商出荷組合	佐藤寿男 佐藤 健	福之姫		523.0	2,942
	JA新みやぎ（築館）	蓬田忠雄	福増	愛之国	421.5	3,200
	JA古川	鈴木 久	勝吾	幸紀雄	438.0	3,056

【第3部交雑種（去勢・雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統（父）	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	佐藤寿男 佐藤 健	北美津久	623.5	2,055
最優秀賞	一般	株ダイコク	北美津久	616.5	2,105
優秀賞	宮城家畜商出荷組合	伊藤 豊 大山 治	第1花藤	621.0	1,672

【第4部肉豚の部】

褒賞	所属団体	出品者名	品種	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	太平洋ブリーディング株	宮城農場	WLD	79.5	2,006
最優秀賞	伊藤忠飼料株	株大槻ファーム	LWD	78.0	954
	太平洋ブリーディング株	ハイランド農場小笠原農場	WLD	79.5	954
優秀賞	一般	株なわや	ハイポー	78.0	856
	全農宮城県本部	株久保畜産	LWD	78.0	856
	丸山株	株蔵王ファーム本場	WLD	78.5	854
	太平洋ブリーディング株	雪沢農場	LWD	81.0	854
	日本農産工業株	社会法人みんなの輪 ひなた農場	LWD	80.0	858

（営業部営業2課 落合 宏幸）

令和6年度仙台牛枝肉共進会inTokyo終了報告

全農宮城県本部

令和6年度仙台牛枝肉共進会inTokyoは、6月5日・6日で東京都中央卸売市場食肉市場において開催され、盛会のうちに終了しました。

《チャンピオン牛》

出品者 菅野 豊博 (JA新みやぎ)
 血統 父：茂晴花 母の父：諒太郎 母の母の父：安福久
 規格 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 551kg
 枝肉単価 5,005円

《最優秀賞牛》

出品者 渡辺 畜産 (JAみやぎ登米)
 血統 父：福之姫 母の父：安福久 母の母の父：百合茂
 規格 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 577kg
 枝肉単価 4,008円

《最優秀賞牛》

出品者 (同) 村田ファーム (JA新みやぎ)
 血統 父：茂晴花 母の父：福之姫 母の母の父：安福久
 規格 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 619kg
 枝肉単価 3,373円

1) チャンピオン牛の概要について

格付は「A-5」で枝肉重量551kg、ロース面積87cm²、バラの厚さ9.3cm、皮下脂肪の厚さ2.6cm、歩留基準値77.7と、体型・肉質が非常に優れており、小ザシで全体的に無駄のない枝肉でした。

2) 審査経過

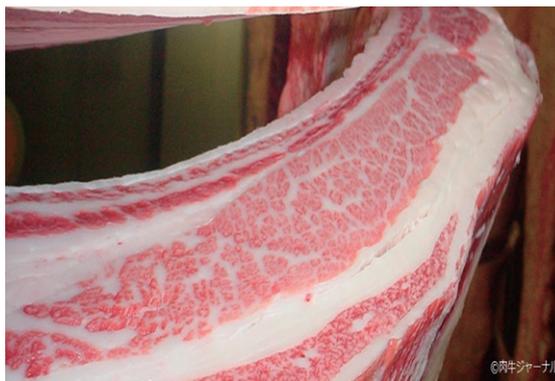
県内から選りすぐりの69頭が上場され、各平均数値は枝肉重量583.5kg、BMSNo.10.4、税抜単価が2,624円となっており、情勢や直近の枝肉相場を考慮すると高値の取引でした。

その他の成績については、平均数値でロース面積が去勢91.6cm²、メス78.4cm²、バラの厚さが去勢9.6cm、メスが8.5cm、皮下脂肪の厚さが去勢2.2cm、メスが3cm、歩留基準値が去勢78.4、メスが77.3と非常に優秀な数値を記録しました。

今年の大会も、肉の色つや、きめ締まり、ともに、大変良好な成績で、肉量・肉質兼備である仙台牛の特徴が際立つ枝肉が多くを占めました。全国でもトップレベルである宮城県産の実力を如何なく発揮された結果、A-5等級率は91.3%と非常に高い成績でした。



チャンピオン牛



©肉ジャーナル

(畜産部生産販売課 須藤 駿)

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
 映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 若き情熱！全国和牛能力共進会 特別区／畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る／コントラクターと連携 大分県高田牧場／他



▼スマートフォンからはこちら
 ▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

がんばる! 畜産! 7
 畜産映像情報



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

北海道全共出品候補牛の確保のための交配にご協力をお願いします

宮城県農政部畜産課 (第13回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会)

第13回全国和牛能力共進会北海道大会(以下「全共」)が令和9年8月26日から30日までの5日間、「魅力発信 新しい力でつなぐ 和牛の未来」をテーマに、種牛の部が音更町、肉牛の部が帯広市の会場で開催されます。

令和6年6月10日に開催された宮城県出品対策協議会第2回協議会では、上位入賞に向けて、目標設定や交配種雄牛の決定を行いました。本県の目標は、本県の和牛生産の礎となった「茂重波」の優点を引き継ぎ、種牛の部では体躯の深さ、鮮明さ、骨緊り、肩付及び乳徴に重点を置き、選定を進めます。また、肉牛の部では、前回大会の課題克服に向け、肉質及び歩留と合わせて、脂肪の質(MUFA)の向上をより重視し、遺伝的能力と飼養管理の双方からアプローチします。肉用種の特徴を堅持し、種牛能力に優れる生体の披露、新たな和牛肉の美味しさが詰まった枝肉の出品を目指すことと決まりました。

また、そのような目標の達成に相応しく、種牛性及び脂肪の質が優れる交配種雄牛として、第6区総合評価群と第8区去勢肥育牛には「勝美桜1」及び「絵里波」の2頭、第7区脂肪の質評価群には新規基幹種雄牛で交雑脂肪の細かさも期待できる「百合博」が選定されました。

全共で上位入賞を獲得するには、選抜のためにどれだけ多くの産子を生産できるかがカギとなります。そのため、令和6年11月15日から開始する交配が令和6年度の全共対策の中で最も重要と言っても過言ではありません。ぜひとも、皆様の交配への御協力について心からお願い申し上げます。そして、関係者全員が開催テーマに示される全共に取り組む意義を理解し、宮城県らしい牛群を構築する取り組みを展開していきましょう。

(生産振興班 渡邊 智)

〈衛生便り〉

令和5年度における県内野生いのししの豚熱感染状況について

宮城県仙台家畜保健衛生所

豚熱は、ウイルスにより起こる豚及びいのししの伝染病です。強い感染力と高い致死率が特徴で、治療法は無く、発生した場合の養豚業界への影響が甚大であることから特定家畜伝染病に指定されています。平成30年9月に国内養豚場で26年ぶりに発生が確認され、令和6年6月までに92事例が確認されており、宮城県内では、令和3年12月に2事例の発生がありました。

感染拡大には野生いのししの関与が考えられ、野生いのししにおける豚熱陽性地域の拡大は、養豚場での発生リスクを高めることから、その感染状況の把握は重要となっています。そこで、令和5年度、県内の捕獲野生いのしし血清316検体を用い、遺伝子検査及び抗体検査を実施し感染状況について調査しました。

その結果、感染個体(ウイルスに感染している個体)は、県南地域では、6月から確認され、翌年2月まで継続的に確認されました。県北地域では、感染個体が8月から確認され翌年3月まで確認されました。また、感染個体と感受性個体(抗体を持たないため感染し易い個体)を合わせた割合は、両地域とも12月が最も高くなっていました(県南:94%、県北:82%)。

野生いのししは、冬に繁殖のため行動域を拡大し、春に出産します。よって、昨年度の県内における野生いのししでのウイルス感染は、春の出産後から始まり、12月に最もいのしし内で拡大し易かったと考えられました。以上の結果を参考に、養豚場においては、適切なワクチン接種の他、ワクチン接種前で移行抗体が消失する離乳豚の時期は特に注意が必要です。豚舎出入り時の靴や衣服の交換等の飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、引き続き農場への豚熱侵入防止対策に努めていただくようお願いします。また、山菜取りやきのこ狩り等で山に立入りする方は、人里にウイルスを持ち込むリスクを減らすように長靴等を着用し、靴やタイヤの洗浄・消毒をお願いします。

(病性鑑定班 大関 貴大)

〈畜試便り〉

第19回現場後代検定成績

宮城県畜産試験場

第19回現場後代検定が終了しましたので、その概要について報告します。今回検定した候補牛は、第19回1次「百合博」号、「雅糸波」号、2次「孝糸波」号、「茂勝久」号の4頭で、検定は1次の2頭を令和4年4月26日から令和6年2月4日、2次の2頭を令和4年6月21日から令和6年4月8日に実施しました。

「百合博」号の父は「茂洋美」(宮城県栗原市)、母の父は「百合茂」(鹿児島県)、母の母の父は「忠富士」(宮崎県)で、生産地は栗原市一迫(菅原博氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量524.4kg、BMS No.9.3となり、脂肪の質が良く、小ザシ傾向の枝肉が多く見られたのが特長です。

「雅糸波」号の父は「洋糸波」(宮城県栗原市)、母の父は「安糸福」(熊本県)、母の母の父は「北国7の8」(鳥取県)で、生産地は大崎市岩出山(県畜産試験場)です。現場後代検定成績では、枝肉重量503.9kg、BMS No.8.4となりました。

「孝糸波」号の父は「洋糸波」(宮城県栗原市)、母の父は「百合茂」(鹿児島県)、母の母の父は「安福久」(栃木県)で、生産地は伊具郡丸森町(菅原公孝氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量500.4kg、BMS No.10.1となり、後者は茂福久に次ぐ県歴代2位の優れた結果でした。

「茂勝久」号の父は「茂福久」(宮城県栗原市)、母の父は「勝忠平」(鹿児島県)、母の母の父は「茂勝」(宮城県栗原市)で、生産地は登米市豊里町(佐藤八郎氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量516.8kg、BMS No.9.5で、枝肉重量は父「茂福久」の成績を上回りました。

検定の結果、「百合博」号と「孝糸波」号、「茂勝久」号の3頭が新規基幹種雄牛として選抜されました。3頭とも高い産肉能力を有していることに加え、「百合博」号は「茂洋美」初の後継基幹種雄牛であり、その産子は、体の伸び・体上線・均称・発育に優れております。また、「孝糸波」号の産子は、発育・体上線・体の伸び・尻形が優れており、高等登録牛である母牛「みく」譲りの効率的な子牛生産が期待されます。「茂勝久」号は「茂福久」初の後継基幹種雄牛であり、その産子は、体の伸び・体上線・発育・皮膚のゆとりにも優れており、3頭とも肉用牛改良に活用することで、宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」の生産拡大の弾みとなります。3頭の家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

第19回産肉能力現場後代検定成績・全頭(平均値)

名号	性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値	基準値	BMS No.	肉質等級4・5率(%)	判定
百合博	去勢	10	29.4	547.1	76.4	9.0	2.4	76.3	3.5	9.8	100%	選抜
	雌	12	29.4	505.5	66.8	9.1	3.1	75.0	2.9	8.8	100%	
	計	22	29.4	524.4	71.2	9.0	2.8	75.6	3.2	9.3	100%	
雅糸波	去勢	7	29.8	526.5	74.6	8.7	3.2	75.5	3.2	9.7	100%	淘汰
	雌	10	28.9	488.1	68.1	8.9	3.6	75.0	2.2	7.5	100%	
	計	17	29.3	503.9	70.8	8.8	3.4	75.2	2.6	8.4	100%	
孝糸波	去勢	11	30.3	531.9	74.1	9.2	2.2	76.6	3.6	10.3	100%	選抜
	雌	10	30.0	465.8	77.6	8.8	2.5	77.3	3.4	9.9	100%	
	計	21	30.2	500.4	75.8	9.0	2.3	76.9	3.5	10.1	100%	
茂勝久	去勢	8	29.7	527.5	76.6	9.1	2.5	76.6	3.5	10.4	100%	選抜
	雌	9	30.1	507.3	77.1	9.3	3.2	76.5	2.9	8.7	100%	
	計	17	29.9	516.8	76.9	9.2	2.9	76.5	3.2	9.5	100%	



『百合博』号



『孝糸波』号



『茂勝久』号

令和7年度宮城県農業大学校入校生を募集（推薦入校試験）

宮城県農業大学校

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして設立された農業大学校です。

下記により、令和7年度入校生を募集する推薦入校試験が行われますので、多数の出願をお願いします。

記

- ◇募集人員（推薦入校試験・一般入校試験（前期・後期）の合計）
畜産学部15名、水田経営学部15名、園芸学部15名、アグリビジネス学部10名
（注）推薦入校試験の募集人員は学部定員の8割程度とします
- ◇試験区分 学校長推薦〔在学生対象〕、地域推薦〔既卒者対象〕
- ◇募集期間 令和6年9月2日（月）～令和6年9月13日（金）（当日消印有効）
- ◇試験日時 令和6年10月1日（火）午前8時45分～
- ◇試験場所 宮城県農業大学校名取教場
- ◇試験科目 ①筆記試験 小論文（60分 800字） ②面接試験 個人面接（15分程度）
- ◇合格発表日 令和6年10月17日（木）午前10時
- ◇専修学校のメリット



- ①卒業生に「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。
 - ②卒業生は、4年制大学の3年次への編入学試験の受験が可能となります。
 - ◇奨学金制度
 - ①本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。
 - ②本校を卒業後、就農を予定されている方は、国の事業である就農準備資金の申請ができます。
 - ③独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。
- ※上記①～③の奨学金の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。
入校試験・奨学金等についての詳細は、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班（電話022-383-8138）までお問い合わせください。

〈農業大学校生の抱負〉

「私の未来」

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 三塚 幸福



私の家では、主食用米6ha、飼料用トウモロコシ1haを生産しています。また、繁殖牛4頭を飼育し、肉用牛の繁殖経営も行っています。幼い頃から牛の飼養管理や田植え・稲刈りなどの手伝いをしてきました。父や祖父は、朝早くから日が暮れるまで汗だくで作業している「農業」という職業で私を養い、育ててくれました。

そのような父や祖父の姿を見て育った私は、農業の素晴らしさや食の素晴らしさに気づくとともに、父や祖父の偉大さを感じ、「私も代々続いている家業を絶やしたくない」、「祖父が父へ継承してきた農業を私も継承し、次の世代へ繋いでいきたい」と考えるようになりました。そこで、就農に向けて、専門的な知識と資格を身につけるため、

宮城県農業大学校に進学しました。

農業大学校では、実習が多く、1年生の時はグループごとに1つ、夏野菜を育て、収穫・販売を行うことで、農産物の生産や流通の大変さ、接客の難しさを学ぶことができました。専攻実習では岩出山教場で牛の給餌や除糞作業など畜産の基礎となる学習をたくさん積みました。視察も多くあり、岩出山牧場や仙台中央食肉卸売市場など飼養管理から食肉の流通までを学習しました。更に、農業で使う様々な機械の運転免許やガス・アーク溶接、家畜人工授精師、2級認定牛削蹄師などの資格を取得し、将来、より良い農業経営者になれるよう日々の学校生活を頑張っています。

将来は、我が家の経営を継承し、肉用牛の繁殖経営と主食用米の規模を拡大するとともに、品質を向上させ、私が作った農産物に付加価値をつけて、食べた人たちが笑顔になるような生産者になりたいと考えています。また、地域活動にも積極的に参加して人とのつながりを大切にして、将来は地域の田んぼを任せてもらえるような、地域の方々に信頼される農家になれるように日々精進します。

茂重波導入50周年に寄せて

宮城県農政部畜産課・宮城県畜産試験場
全国農業協同組合連合会宮城県本部畜産部

今年は「茂重波」号が宮城県に導入され50周年となります。「茂重波」号と聞けば、皆さんご存じのとおり、本県の和牛改良の祖であり、その功績や恩恵は計り知れません。現在、「茂重波」号の玄孫に当たる牛たちが基幹種雄牛として活躍しています。

さて、少し「茂重波」号の生い立ちや系統に触れてみます。「茂重波」号は、昭和47年4月15日に兵庫県美方郡浜坂町（現在の新温泉町）の楠田節美さん宅で誕生しました。その後、昭和49年に宮城県が購入し、畜産試験場に導入されました。

「茂重波」の系統である茂金系は、「茂重波」号の父牛「茂金波」号を始祖牛として定められています。「茂重波」号は、「茂金波」号の父娘交配で生まれておりますが、同じように父娘交配で昭和62年に誕生したのが「茂勝」号です。今では近交退化を避けるため、交配することはほぼありませんが、その当時は、良い遺伝子、例えば脂肪交雑の遺伝的能力などを固定化する目的から近親交配が行われました。その後、茂金系は「茂洋」号、「茂福久」号へとつながっております。

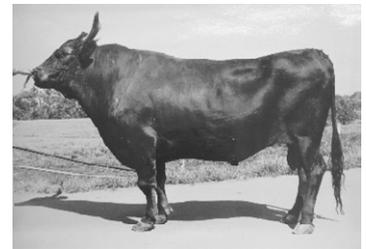
そして、「茂重波」号の産子は、資質、肢蹄、乳徴が良好で、産肉能力の高さは目を見張るものがあり、脂肪交雑はもとより肉の色沢や脂肪の質は非常に優れていたことから、宮城県の子牛市場価格は長らく全国トップクラスだったようです。

「茂重波」号は、昭和63年1月23日に生涯を閉じました。畜産試験場で後輩種雄牛の活躍を見守るように、「茂重波」号の銅像が立っており、生前の雄々しい容姿を表し、最も本牛に近い銅像ともいわれております。

また、本年6月に開催された「仙台牛枝肉共進会in Tokyo」の前日の「仙台牛の集い」において、県畜産課の鈴木秀彦課長が「茂重波」号の軌跡について講演を行いました。その際「茂重波」号の全盛期を知っている参加者からは、脂肪の質の素晴らしさを評価し購買していたとの話がありました。さらに、ある肥育農家は、「いまだに茂重波を超える枝肉は見えないよ。切開後、ふわぁ〜とサシが浮き上がってくるんだ」とおっしゃっていました。

その後、6月10日に開催された第13回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会第2回協議会では、宮城県が目指す目標として、まさに「茂重波」号の優れた特長を受け継ぐ牛づくりを行い、体のしまりや品位等に富む種牛性と美味しい脂肪の質に優れる「仙台牛」を披露できるよう取り組むことを関係者で確認しました。

本県の和牛改良に多大な貢献をした「茂重波」号に対し、改めて感謝するとともに、引き続き畜産関係者が一丸となり、しっかりと肉用牛改良事業を継続し、仙台牛の一層の発展に努めてまいります。



(生産振興班 渡邊 智)

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>) でもご覧になれます。

(担当: 審査部登録課 電話03-3583-2142)

NAR 地方競馬全国協会 岩手競馬(盛岡・水沢開催)8・9月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				盛岡							盛岡							盛岡						盛岡							
9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	盛岡							水沢							水沢								水沢							水沢	

※開催期間中の重賞レース

- ・8/4(日) 第26回岩手県知事杯OROカップ
- ・8/11(日) 第38回ひまわり賞(オークス)
- ・8/12(振・月) 第29回クラスタースターカップ
- ・8/18(日) 第14回OROターフスプリント
- ・8/25(日) 第26回ジュニアグランプリ
- ・9/1(日) 第50回ビューチフルドリマーカーカップ
- ・9/3(火) 第56回不來方賞
- ・9/8(日) 第42回ビギナズカップ
- ・9/16(祝・月) 第32回青藍賞
- ・9/22(日) 第5回オートムティアラ
- ・9/29(日) 第11回ヴィーナススプリント

第59回宮城県ブラックアンドホワイトショウの結果について

宮城県ホルスタイン改良同志会

去る令和6年6月22日(土)みやぎ総合家畜市場を会場に、第59回宮城県ブラックアンドホワイトショウが開催されました。今回は審査委員に日本ホルスタイン改良協議会認定ジャッジマン 足利 秀忠 氏をお招きし、8部36頭による審査が行われ無事盛会裡に終了することが出来ました。

開催にあたり、多大なるご支援ご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。

なお、上位入賞牛は下表のとおりです。

褒 賞	部	名 号	市町村	氏 名
経産牛グランドチャンピオン シニアチャンピオン	8部	エイトロール デンバー オーロラ	大崎市	八巻 誠
未經産牛グランドチャンピオン	3部	ゲンミヒル アルテイチュード ジョージア RED ET	丸森町	菊地 武士
経産牛リザーブグランドチャンピオン インターミディエイトチャンピオン	6部	レスポアール サツクス ハーゲン	丸森町	一條 有希
未經産牛リザーブグランドチャンピオン	1部	エイトロール デルタラムダ オーロラ	大崎市	八巻 誠
リザーブインターミディエイトチャンピオン	5部	イチジヨウファーム エアローン ハーベスト モンスト	丸森町	一條 有希
リザーブシニアチャンピオン	7部	ウツデイルランド クラツシユ モエ	角田市	(有)渡辺ファーム
ベストリードマン賞 : 栗原市 小山 來翔				
団 体 賞 : 中央地区				

(事務局 一般社団法人宮城県畜産協会 家畜改良課 石川 正志)

令和6年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ

一般社団法人 宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和6年度宮城県総合畜産共進会を下記日程のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

記

- 1 肉用牛の部
 - ・会 期 令和6年9月6日(金)～7日(土)
 - ・場 所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
 - ・一般参観 9月7日(土) 9:00～12:30
- 2 乳用牛の部
 - ・会 期 令和6年9月25日(水)
 - ・場 所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
 - ・審査時間 9:30～12:30
- 3 肉豚の部
 - ・会 期 令和6年10月23日(水)～25日(金)
 - ・場 所 (株)宮城県食肉流通公社(登米市)
 - ・枝肉展示及び褒賞授与 10月25日(金) 10:30～12:00

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ宮城営業所
仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小田島商事(株)
大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

M P ア グ ロ (株)
仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム
仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301